

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会 基準日	毎年6月 毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告して設定します。
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 ホームページ http://www.vinculum-japan.co.jp ※貸借対照表、損益計算書はEDINET(金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム)にて開示しております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
同郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
同電話照会先	☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル) ・住所変更のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。 ・未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
上場金融商品取引所	大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

開示情報のメール発信サービスのご案内



ヴィンキュラム ジャパンでは、株主の皆様タイムリーな開示情報をご提供するため、インターネットを利用した開示情報のメールサービスを行っております。ヴィンキュラム ジャパンの開示情報に関するお知らせを電子メールにて直接、ご指定のメールアドレスにお送りするサービスです。この機会にぜひご利用くださいますよう、お願い申し上げます。

開示情報のメール発信サービスのご案内

<http://www.vinculum-japan.co.jp/ir/>

株主様向け
アンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 3784

いいかぶ

 空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈させていただきます

 ※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2mediaについての詳細<http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。
事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com



VINCULUM JAPAN

ヴィンキュラム ジャパン株式会社
本社/〒530-0004
大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル
TEL.06-6348-8951 (代)
<http://www.vinculum-japan.co.jp>

UD FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の
考えに基づいた見やすいデザインの
文字を採用しています。

第24期 中間報告書

2012年4月1日 ▶ 2012年9月30日



VINCULUM JAPAN

証券コード：3784

人々のくらしと企業のビジネス活動の接点を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献します。



代表取締役社長 瀧澤 隆

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第24期中間期(2012年4月1日から2012年9月30日まで)における当社グループの事業概況等を謹んでご報告申し上げます。

当中間期の連結業績

→ 売上高

50億67百万円
前年同期比6億63百万円(15.1%)の増加

前年同期の数値から増加

売上高は、特定顧客化戦略推進によるアウトソーシング案件の受注増加並びにMD基幹システム大型開発案件の受注及びライセンス販売が好調であったこと等により、順調に推移し、前年同期の数値を上回る結果となりました。

→ 営業利益

93百万円
前年同期は営業損失1億65百万円

前年同期の赤字から黒字転換

→ 経常利益

97百万円
前年同期は経常損失1億33百万円

前年同期の赤字から黒字転換

→ 四半期純利益

59百万円
前年同期は四半期純損失75百万円

前年同期の赤字から黒字転換

利益面は、MD基幹システム大型開発案件のマネジメントコストの増加等がありましたが、とりわけ特定顧客向けアウトソーシング案件のコスト圧縮及び業務効率向上に努めたこと及びライセンス販売が好調であったこと等が奏功し、前年同期の赤字から脱却し黒字化を達成することができました。

通期の展望

→ 売上高

103億円

売上高は、MD基幹システム大型開発案件の受注並びに上期に受注した大手ドラッグストア向けPOSシステム大型開発案件が本格的に進捗する予定であること及びライセンス販売が順調に推移する見通しであること等により、当初計画通りに推移する見通しです。

→ 営業利益

2億63百万円

→ 経常利益

2億53百万円

→ 当期純利益

1億65百万円

利益面は、着実な受注の積み重ねにより売上高が順調に推移する見通しであること、また、ライセンス販売が順調に推移する見通しであること等により、当初計画通りに推移する見通しです。

【中間配当実施について】

このたび、当社グループは、第24期中間期業績を踏まえて、いち早く株主の皆様への利益還元を実施いたしたく、1株当たり1,000円の中間配当を実施させていただくことといたしました。なお、期末配当金につきましては、1株当たり1,000円を予定しております。

業績ハイライト



日本・中国・マレーシア各拠点を有機的に連携させた独自のグローバルITネットワークで 流通・小売業のアジアIT戦略をサポートするヴィンキュラムグループ

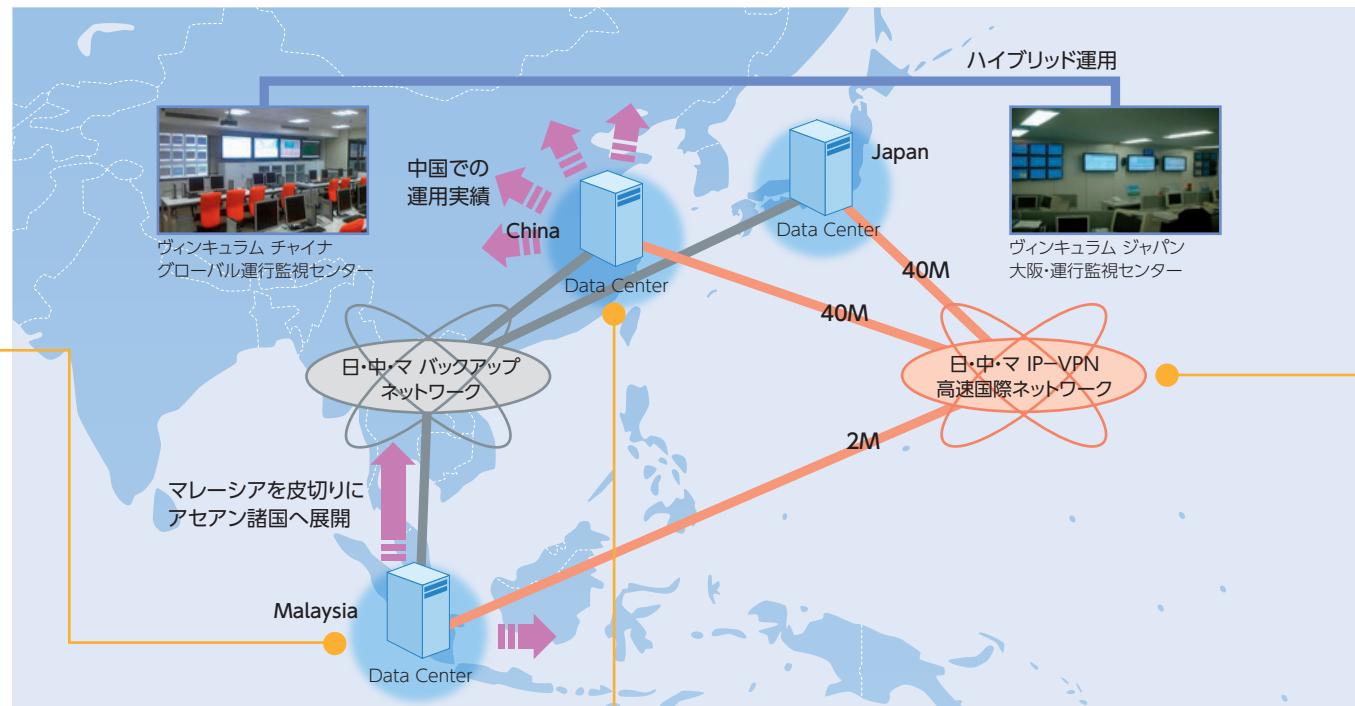
- マレーシア現地法人
- (ヴィンキュラムマレーシア)
- 2012年7月1日から本格稼働



●2012年7月19日
開所式の様子
主要顧客幹部の方々も参列され、盛大に執り行われました。



●現地経済紙にも掲載されました
アジア経済情報紙のトップニュースとして掲載されました。



- 日本・中国・マレーシアを国際専用回線で結んだIT運用サービスをマレーシアで開始

2012年7月よりサービスを開始したIT運用サービスは、当社が日本において培ってきた流通ITの経験と実績に加え、日中双方の拠点を大容量の国際専用回線で接続し、インフラ・人材の両面で密接に連携させた独自のビジネスモデルをアセアン地域に展開する最初の一步となるものです。
本サービスは、当社グループ独自のグローバルネットワークをフル活用した24時間365日対応のシステム運用監視サービス及びネットワーク運用を内容としており、距離の壁、言葉の壁を感じさせず、日本品質のサービスをワンストップで提供できることが最大の特長です。

● 中国において合併会社 (BPR/BPO事業) を設立

- イオンデイライト株式会社・当社・株式会社東忠の3社は、BPR/BPO事業(業務代行事業)を行う新会社を中国(杭州市)に設立いたしました。

当社資本参加の意義

イオングループ全体のグローバルネットワークとして、ヴィンキュラムネットワークを活用いただくことにより、アジア・アセアンのIT戦略のベストパートナーとしての礎を築く

イオンデイライト株式会社のBPR/BPO事業を資本参加により全力で支援することで、イオングループ全体のBPR/BPO関連ビジネスの拡大と深耕を図る

会社概要

商号	永旺永樂(杭州)服務外包有限公司
代表者	松井 修
本店所在地	中華人民共和国浙江省杭州市浜江区長河路590号 東忠科技园
設立年月日	2012年10月

主な事業内容	BPR/BPO事業
決算期	12月末日
資本金	1億5,000万円
出資比率	イオンデイライト株式会社 70%、 ヴィンキュラム ジャパン株式会社 25%、 株式会社東忠 5%

四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期末 2012年9月30日現在	前期末 2012年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	3,786,617	3,497,464
固定資産	1,909,479	1,909,085
有形固定資産	562,972	574,479
無形固定資産	669,292	717,420
投資その他の資産	677,215	617,184
資産合計	5,696,097	5,406,550

	当第2四半期末 2012年9月30日現在	前期末 2012年3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	1,821,530	1,692,122
固定負債	135,013	160,511
負債合計	1,956,544	1,852,633
(純資産の部)		
株主資本	3,477,364	3,449,855
その他の包括利益累計額	△12,464	△22,122
新株予約権	14,422	11,620
少数株主持分	260,230	114,563
純資産合計	3,739,553	3,553,916
負債純資産合計	5,696,097	5,406,550

四半期連結損益計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日	前第2四半期累計 2011年4月1日～ 2011年9月30日
売上高	5,067,572	4,403,742
売上原価	4,146,872	3,792,577
売上総利益	920,700	611,164
販売費及び一般管理費	827,505	776,811
営業利益又は営業損失(△)	93,194	△165,646
経常利益又は経常損失(△)	97,618	△133,550
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,008	△75,790

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日	前第2四半期累計 2011年4月1日～ 2011年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	202,650	△137,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,406	△213,065
財務活動によるキャッシュ・フロー	146,293	△127,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,420	2,139
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	223,958	△475,967
現金及び現金同等物の期首残高	777,793	1,536,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,001,751	1,060,145

株式の状況 (2012年9月30日現在)

発行可能株式総数 112,000株
 発行済株式の総数 31,500株
 株主数 1,190名

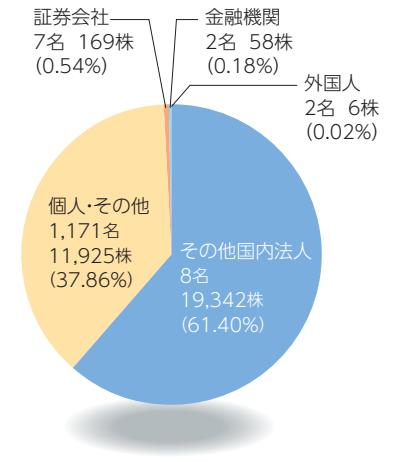
大株主 (上位12名)

株主名	持株数	持株比率
富士ソフト株式会社	19,025株	60.39%
ヴィンキュラム ジャパン従業員持株会	2,179	6.91
ト 部 邦 彦	704	2.23
相 川 勝 次	636	2.01
城 田 正 昭	477	1.51
井 口 與 志 昭	323	1.02
大 西 誠	284	0.90
長 田 光 男	234	0.74
新 岡 弘 行	225	0.71
安 田 佳 子	150	0.47
中 尾 達 成	150	0.47
株式会社日本システム研究所	150	0.47

会社概要 (2012年9月30日現在)

商号	ヴィンキュラム ジャパン株式会社 (英文名 Vinculum Japan Corporation)
設立	1991年2月20日
主要な事業内容	流通・サービス業に特化した総合情報サービスの提供
資本金	5億4,212万5千円
従業員数	622名(連結)、486名(単体)
主要な事業所	本 社 大阪市北区堂島浜2-2-8 データセンター 大阪市北区堂島3-1-21 東京事業所 東京都墨田区江東橋2-19-7 幕張事業所 千葉県美浜区中瀬2-6 仙台事業所 仙台市青葉区中央1-9-33

所有者別株式分布状況 (2012年9月30日現在)



役員 (2012年9月30日現在)

代表取締役社長	瀧 澤 隆
専務取締役	下 垣 博 美
常務取締役	大 西 誠
取締役	吉 田 裕
取締役	服 巻 俊 哉
取締役	佐 藤 諭
取締役	小 谷 知 哉
常勤監査役	生 嶋 滋 実
監査役	村 田 智 之
監査役	佐 藤 吉 浩